

1 主題名 にくしみをこえた美しい心 3-(3) 敬虔

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目3-(3)に位置付けられ、「美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。」ことをねらいとしている。

人は美しい花を見れば美しいと感じ、美しい行為、気高い心に触れたとき感動する。しかし、自然環境が悪化し、人間関係が希薄になってきている現代、美しいものを素直に美しいと感じる、本来人間がもっている感性が薄れつつある。児童においても、美しいものや美しい行為を見て感動する心は持っているものの、美しいものを見ても美しいと感じない(素直に表現できない)子どもが多い。また、利害や打算で物事を考え、自己中心的傾向も見られる。

そこで、自分のことしか考えないということではなく、献身、犠牲の精神や行為の気高さ、美しさに感銘させる、つまり、美しいもの、清らかなものを素直に感じる心を育てるとともに、人間としての在り方をより深いところから見つめ直す態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について (在籍 20名)

係や当番の仕事に誠実に取り組もうとする児童が多い。また、全員で協力して取り組む学級としてのまとまりもある。しかし、クラス替えのない単学級ということで、人間関係が固定しがちである。

実態調査 (調査人数18人 9月12日調べ)

調査項目	回答(人)
① 何かを見て、美しいと感じたことがありますか。	ある(17) ない(1)
② 「ある」と答えた人に聞きます。どんなものを見たときですか。	夕日(3) 雲(2) 空(3) 絵画(2) 海(2) 景色(4) オーロラ(1) 富士山(1) 森林(1) 花(1) 氷の彫刻(1) 島(1) 自然(1) 木(1) サッカー選手のプレー(1)
③ 人の心が美しいと思ったことがありますか。	ある(9) ない(9)
④ 「ある」と答えた人に聞きます。どんなとき人の心が美しいと感じましたか。	やさしく接してくれたとき(6) 親切にしてくれたとき(2) 泣いている人をなぐさめているとき(1) 本当に笑っているとき(1) 自主的にがんばっている人(1)

以上の実態調査から、ほとんどの児童が自然物などのものに対して美しいと感じた経験を持っていることが分かる。反面、人の心の美しさでは、優しさや思いやり、努力などを美しいものと答えた児童がいる一方、日頃これらの行為に接しているにもかかわらず、美しいと感じられない児童も多かった。このことから、美しいもの崇高なものを感じ取る気持ちはあるものの、それはまだ表面的で、自然や芸術作品というような物だけで終わっている児童が多いと考えられる。また、児童の様子から、人間の力を超えたものに対する「畏れ」の感情は、日常的にはあまり見られない。

そこで、美しいもの、清らかなものの存在に目を開かせ、気付かせるとともに、美しいもの、崇高なものを素直に感じ取る心をさまざまな感動を通して揺り動かすことが、大切だと考える。

(3) 資料について (資料名 「青の洞門」 学研)

本資料は、罪を償い、人の役に立ちたいと危険なくさり渡しの代わりに洞門を掘り抜こうと絶壁に挑んだ了海と父の敵をとろうとやってきたが洞門完成まで敵討ちを待つことにし、その日までと了海の仕事を手伝う実之助とが、労苦をともにし、洞門が完成することで最後にはすべてが恩讐のかなたへと消散するという感動資料である。

了海の一生をかけて罪の償いをしようとする心と了海の深い反省と後悔、改心の情に感動し、変わっていく実之助の心に焦点を当て、二人の気持ちを共感的にとらえるとともに、実之助の気持ちを変化させたものについて話し合うことを通して、ねらいとする価値に迫りたい。

3 本時の指導

- (1) ねらい
美しいものや崇高なものを尊び、清らかな心をもとうとする心情を養う。
- (2) 学校教育指導方針の努力事項との関連
努力事項「児童生徒が楽しみに待つような道德の時間の在り方の追究」に対して、以下の取り組みをする。
 - ・児童一人一人が自由に意見を出し合うとともに意見が尊重され、共に考えられる話合いの場を工夫する。
 - ・児童が自分の考えを自由に記入したり、今までの自分を振り返ったりすることのできるワークシートを工夫し、評価に生かす。
- (3) 準備・資料
教科書、心のノート、場面絵、短冊カード、ワークシート
- (4) 展開

主な活動と発問 (中心発問：◎)	予想される児童の反応	教師の支援・評価 (◎：努力事項との関連)
<p>1 「心のノート」を読み、話し合う。 「人間の力を超えたもの」とはどんなものだろう。</p> <p>2 読み物資料「青の洞門」を読み、話し合う。</p> <p>○ 心に残ったことはありますか。</p> <p>○ 「実之助どの、さあ、お切りなされ。」と言われた時、実之助はどう思ったでしょう。</p> <p>◎ 実之助の心を変化させたのは、どんな力があったからでしょう。</p> <p>3 授業を振り返る。 授業で考えたことや感じたことを書きましよう。</p> <p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>・海や山などの自然</p> <p>・ロボットなどの科学技術</p> <p>・人間が協力した力</p> <p>・感動する力</p> <p>・何十年もひとりで穴を掘ったところ。</p> <p>・自分はひとりで掘ることなんてできないのに了海はすごい。</p> <p>・了海は罪を償えたと思う。</p> <p>・敵を許せる実之助もすごい。</p> <p>・実之助が了海を切らなかったところ。</p> <p>・了海を切ることはできない。</p> <p>・了海はもう罪を償った。</p> <p>・憎しみはが消えた。</p> <p>・もう許してやろう。</p> <p>・命をかけた了海の仕事への感動。</p> <p>・心と心のつながり。</p> <p>・了海と人びととの協力。</p> <p>・美しい心を自分から出していくことは大切だ。</p> <p>・助け合うことで人間の力を超えることができるのだな。</p> <p>・人を感動させるような心が人間の力を超えるのだ。</p>	<p>・「畏敬の念」が児童にとって、実感がなく、日頃あまり意識しないものであるため、導入を丁寧に扱いたい。</p> <p>・心のノートを活用し、「人間の力を超えたもの」という言葉に着目させ、資料への関心を高める。</p> <p>◎「人間の力を超えたもの」についての話合いは、グループでの話合いを取り入れる。</p> <p>・資料が江戸時代の実話に基づいていることを簡単に紹介する。</p> <p>・青の洞門付近の写真を示したり、BGMを流したりしながら、教師が範読をする。</p> <p>・ワークシートに書いた事柄をペアで意見交換し、考えを広げられるようにする。</p> <p>・多くの児童の意識が、了海の行動に向けられている場合には、「すごいのは了海だけですか。」という補助発問を投げかけ、実之助にも関心が向くようにする。</p> <p>・了海の命を狙っていた実之助の心の変化と了海の強さや気高さに感動している実之助の心情を共感的にとらえられるようにする</p> <p>・ワークシートに考えをまとめる時間を確保する。</p> <p>・ペアで意見交換することで、自信をもって発表できるようにする。</p> <p>◎多くの児童に発言の機会を与えることで、多様な考えに触れられるようにする。</p> <p>・資料に対する感動と余韻を大切に、自分を振り返る時間とする。</p> <p>評 美しいものや崇高なものを尊び、清らかな心をもとうとすることができたか。 (発表、ワークシート)</p> <p>・余韻が残るようにする。</p>